

これからの未来

2019年5月現在



■ 社会保障

自らの看護師としての現場経験、さらに2500ヶ所もの病院や施設を訪問して現場の声を聞き続けている行動が、政策提言の内容に厚みと実感をもたらしている。「いのちを守る」「暮らしを支える」。これが政治の根本的な使命である。ひとりひとりが幸せを感じることができる社会をキチンとつくりたい。

■ 財政金融

すべての政策の実現には財政の裏付けが必要である。財政と金融は現代社会の血液であり、その運営は極めて基本的な政策課題だ。この意識の下で、初当選以来参議院財政金融委員会や自民党の財務金融部会に身を置いている。社会保障の充実のためにも国民の暮らしを支える財政金融政策を展開したい。

■ 科学技術

分子生物学者を志し、大学に入学。その後も職場では情報システムの構築や管理を行っていた。新しい科学の知見の普及が人間社会の価値観を根本から変えてきた。政治家は科学技術の素晴らしさと恐ろしさをよく理解すべきである。常に先端を知り、社会への影響を考えながら政策実現していきたい。

参議院議員・自由民主党

昌 宏
石田まさひろ

M A S A H I R O I S H I D A

これからの未来

2019年6月現在

～看護政策～



■人手不足の緩和

根源的な課題は人手不足です。

- ・ 診療報酬や介護報酬の引き上げ
- ・ 登録制の活性化による潜在看護師のさらなる活用
- ・ 保育や学童保育の充実とワークライフバランスの推進等による離職者減少
- ・ 民間紹介会社の適正化

などを通じ看護職員の数の充実を図る必要があります。

しかし一方で、看護職のなり手の確保は遅くても約10年後には限界を迎えると考えられています。新しい政策も進めなければなりません。

■業務の削減

業務の削減を進めることでベッドサイドケアの充実させることもできます。

- ・ 最近特に増えてきた記録や手続きの簡素化
- ・ 看護補助者の活用や他職種との業務分担の見直し
- ・ 人工知能やロボットの活用による人の手による業務の削減

などを通じ、業務を整理し、看護師たちがもっとベッドサイドケアを充実できるようにしなければなりません。

参議院議員・自由民主党

昌 宏
石田まさひろ

M A S A H I R O I S H I D A



これからの未来

2019年6月現在

～看護政策～

■質の向上

ベッドサイドに同じ時間いても、ベテランと新人ではケアの内容が大きく違います。一人一人の看護の腕をあげることが看護の充実に不可欠です。

- 卒後教育の体系化と生涯を通じた受講ができる体制づくり
- 基礎教育の4年化と実践力がつくカリキュラムの充実
- 教育の地域格差をなくすための遠隔教育の普及
- 多様なキャリア形成の推進とそのための所属施設の枠を超えた人事交流の推進
- 最新技術を活用した新しい看護技術の開発の支援

などを通じて、「業務ができれば一人前」という考えではなく、「一生涯かけて人として看護師として成長を続ける」というマインドに基づき看護師一人一人が研鑽を詰めるようにしていかなければなりません。

参議院議員・自由民主党

昌 宏
石田まさひろ

M A S A H I R O I S H I D A

これからの未来 ～看護政策～

2019年6月現在



■ヘルシーワークプレイスの推進

安心して健康的に仕事ができる環境もまた必要です。忙しくて気づけばトイレに行くのを忘れていたと言った環境での仕事は看護師自身の健康を脅かします。

- ・日本看護協会が提唱するヘルシーワークプレイスの推進
 - ・働き方改革への理解を基にしたダイバーシティのある職場づくり
 - ・受動喫煙防止の推進や労働環境の向上
 - ・職場内だけでなく患者家族等からのハラスメント防止対策
- などを進める、緊張感を持ちすぎず安心してベッドサイドにいける環境を作らねばなりません。

■保健医療福祉政策の推進

健康長寿社会の実現、国民一人一人の健康や医療に対する意識改革、人口の減る地方での医療看護の確保、都市部の急激な高齢化への対応、広がる地域格差の是正など、保健医療福祉政策の整備も必要です。

これらに対する財政的な裏付けの確保も安定させなければなりません。社会の安定あってこそ看護現場の安定があります。

参議院議員・自由民主党

昌 宏
石田まさひろ

M A S A H I R O I S H I D A